

2023 東北大学オープンキャンパスツアー報告

期 間 令和5年7月26日(水)～27日(木) 1泊2日

宿 泊 相鉄フレッサイн 仙台 (宮城県仙台市青葉区中央4-4-5) 仙台駅徒歩4分
<https://sotetsu-hotels.com/fresa-inn/sendai/>

日 程 7月26日(水)

7:00 学校 集合・出発 (バス配車 6:40)

↓

↓バス 途中 SA で各自昼食

↓

14:20 震災遺構 大川小学校 到着
語り部の只野さんと見学

16:00 大川小学校 出発

↓バス

17:30 ホテル 到着 (各自夕食)

22:00 ホテル 点呼 就寝

7月27日(木)

6:00 起床 準備 朝食は各自

7:30～7:45 チェックアウト

↓地下鉄等

8:15 東北大学 到着

志望学部学科で見学 (各自昼食)

↓地下鉄等

15:00 仙台駅 出発

↓バス

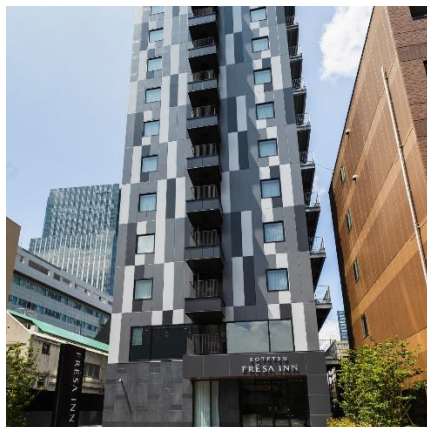
19:45 おおたバスターミナル 到着

20:05 学校 到着 解散

仙台駅



ホテル 相鉄フレッサイн仙台



・ホテルが駅から近く移動や食事、買い物等に便利でした。綺麗で素敵なホテルでした。

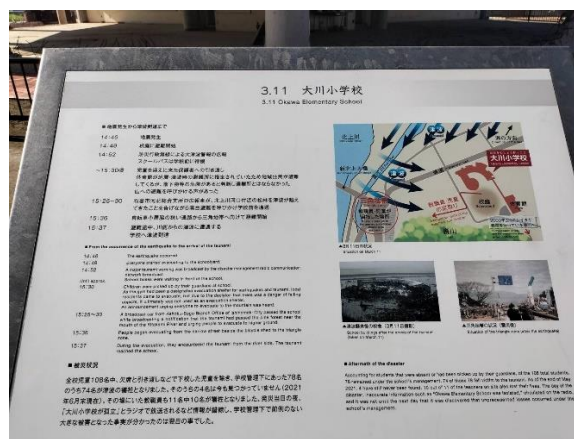
震災学習

「大川伝承の会」の只野英昭さんが案内をしてくれました。大川小学校では東日本大震災による津波で児童 74 人(4 人は行方不明)教職員 10 人合わせて 84 人が犠牲になりました。助かったのは児童 4 人と教員 1 人だけでした。その一人が当時大川小学校の 5 年生の只野さんの息子さん、只野哲也さんでした。只野さんのお嬢さんは当時、小学 3 年生。大川小学校で犠牲になりました。奥様とお父様も津波で亡くされ 6 人家族が 3 人になってしまいました。実は震災当日は奥様のお誕生日でした。夜にお祝いを予定していたと話してくださいました。その日のことやそれから 11 年間の思いをお話してくださいました。

【小さな命の意味を考える会 HP http://311chiisanainochi.org/?page_id=5 】

【大川伝承の会 パンフレット http://311chiisanainochi.org/?page_id=4568 】

震災遺構大川小学校 【 http://311chiisanainochi.org/?page_id=6186 】



語り部の只野さんから話を伺う

校舎



ねじ曲がった渡り廊下



普段授業等でも来ている裏山



裏山からみた大川小学校



校舎



生徒から只野さんへ感謝の言葉を



お食事タイム

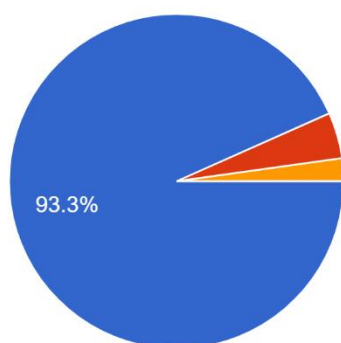




アンケート結果

大川小学校での研修について

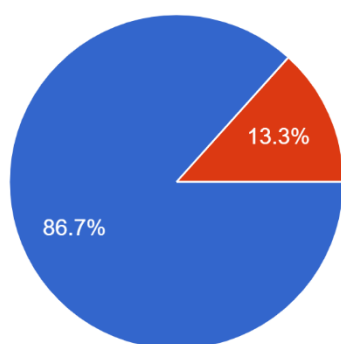
45 件の回答



- 良かった
- やや良かった
- やや良くなかった
- 良くなかった

東北大学オープンキャンパスについて

45 件の回答



- 良かった
- やや良かった
- やや良くなかった
- 良くなかった



※ 次頁以降の感想は生徒が入力した文章になります。バス内での入力もあり修正等していないので多少読みづらい部分もありますがご了承ください。

【大川小学校での研修に参加して感じたことを記入してください】

- ・なかなか聞くことの出来ない貴重な体験をさせてもらったなと感じました。聞いたお話はとても心に深く残り、今の自分を見直さなければいけないなと感じました。
 - ・語り部の方のお話を聞いて、その当時は、自分のことで手一杯だったけれど、知らないところでたくさんの人の命が奪われていて、とても悲しいことだと思った。知ったことを、そのままにするのではなく、家族などに話して自分のできる範囲でたくさんの人に知ってもらいたいなと思った。
 - ・震災による被害がとても悲惨であった事は知っていたが、その被害の裏に隠されてしまった悔しい事実や全員が生存出来たであろう方法を知り、亡くなった方の命が軽視されてしまっている現実には悲しい気持ちになった。
 - ・災害という非常事態が起こった時にどう行動すべきなのか、また命を守るために日頃から何をすべきなのかを考え直すきっかけになりました。過去の過ちを認めず、揉み消そうとするのではなく、振り返り後世へと伝えていくことが大切だと知ることが出来ました。
 - ・震災に対して備えることの大切さを知ることができました。私達に本当に大切なこと、私達が伝えていかなければいけないことを知ることができました。もしあのときこうしていたら、こうだったら、など誰かの大切なものが失われてから考えるのでは遅すぎると実感しました。
 - ・現地に行かないと分からない悲惨さや命の大切さ、日頃の準備をしっかりとパニックになる前に当たり前に出来るようにすること、大人がもっと命の尊さを知ることがどんなに大切なのか考えさせられました。私は学校での避難訓練を今まで適当にすればいいやとか楽だから、と思う部分があったけど、もし本当に災害があった時に完璧に避難できて正しい知識を活かせるようにもっと真剣に取り組むべきだと思いました。
 - ・美談ではなく、2度と繰り返してはいけないことを伝えるべき、という言葉にハッとしました。あの場所でどんな事が起こったか真相が不明の中、必死に聞き回ったりした話に感銘を受けました。
 - ・只野さんのお話を聞いて、私も少し、津波などの災害に対して他人事に考えていたかもしれないと気付かされました。自分事に考えることが簡単じゃないことにも気づきました。避難訓練、防災意識を改めて見直す必要があると感じました。
 - ・こういう機会がないと中々体験出来ないことだったので、実際にお話を聞けて良かった。でも暑すぎて溶けそうだった
 - ・震災から13年たって、段々とあの日のことが忘れられたり、辛いものとして流されたりしているけれど、失敗した記憶を伝えていくことが大切だとわかった。また、あの日の真実を覚えておくのも大切だと思った。
 - ・今まで美談はたくさん聞いたことあったけど、まともに悲惨な話を聞いたのは初めてだったのですごく衝撃的だった。このような良くなかった話をもっと語り継いで行くべきだと思った。
 - ・語り部さんの話から震災の惨劇さや、遺族の辛さ、悔しさがひしひしと伝わり、心が痛んだ。この惨劇を繰り返さないためにも、私たちが後世に伝えていかなければならないと思った。
- 実際に関わっている人から話を聞くことでネットニュースを見ただけでは感じられない思いが感じられると思いました
- ・実際の場所に行って、語り部の方に話を聞くことで動画やテレビで見るものより、もし自分だったら、など様々なことを深く考えることが出来た
 - ・津波の怖さや避難訓練の大切さを改めて感じる事ができた
 - ・自分で考え、行動することの大切さ、時には先生の指示には従わない勇気も必要だと感じた。
 - ・想像していた語り部さんの話とは違いました。美談ではなく、暗い部分をはっきりとした言葉で話してくださったので、とても心に響きました。特に、避難して助かったという事例は奇跡なんかではなく、当たり前のことだという言葉がとても印象的でした。言葉で表すのが難しいですが、とても大切なことを学んだように思います。

・テレビのニュースやドキュメンタリーで見るのとは訳が違いました。コンクリートがひしゃげ横倒しになった渡り廊下や、実際に生存者が逃げ道として使った急斜面の坂道を実物大で見て、感じで、踏みしめて、そう思いました。語り部さんの言葉もあわせ、改めて地震の規模や大きさと、災害の無慈悲さを痛感させられました。私の住む太田市は比較的災害が少なく、正直言って災害への危機感が低いと思います。でも、いつも来ないからと言って大丈夫なんてことは無い、危機感の有無にかかわらず災害はいつでもやってくるんだ、ということに気づきはっとしました。なぜ真実をそこまで突き詰めようとするのか、という問に対して、語り部さんは「二度と同じことを繰り返さないようにするためだ」と力強く仰っていました。その言葉を受け取った 1 人としてこの災害を伝え、災害への意識を高めていきたいです。

・釜石の奇跡などの訓練をしっかりと助かったところがあれば今回の大川小学校のように亡くなった人が多いところもあることを知った。災害の時に時と場合によってとっさに対応できるように普段から備えることが大切だと思った。判断ミスや間違った集団行動が命取りになるのでしっかりと知識を身に付け、準備を怠らないのが大切だと思った。他人事だと思わずに自分のこれからに活かしたい

・講師の方の話の中で特に印象に残ったのは、「釜石の奇跡は奇跡なんかじゃない」という言葉だ。大川小学校でも避難訓練などの当たり前のことをしっかりとしていれば皆助かった、と仰っている姿が印象的だった。我々も成功したことを美談にして伝えるのではなく、大川小学校のことも語り継いでいかなければならないと強く思った。

・生の声を聞くことや、被災地を訪れる事がなかなかなかったので、地震の怖さがはっきりと感じられて、自分の命を自分で守る大切さが分かった。

・大川小学校は川の津波の影響を大きく受けたと初めて知った。普段の避難訓練など万が一の対策が事前にをしていなかったことが冷静な判断をできなかった理由だったという話から、事前対策は本当に大事だと思った。

・テレビ、新聞などで報道されているニュースの中で聞いた被災者の声より直接聞いた声の方が伝わってくるものが大きく感じました。命が大事だと言っていたとしても組織のことを考えてしまっただけで判断を間違えてしまうことはあってはならないと思いました。

・当たり前のことを当たり前に出来ることが大切

・まだ全貌が知られていないということを知って驚いた

・東日本大震災の時、子供ながらになんとか眺めていたテレビの中の光景が実際に起こったことだと実感させられた。自分の災害に対する意識の低さ、知識のなさを痛感しこれから自分や自分の大切な人を守るための行動を考えていかなければいけないと思った。

・まず、実際に被災された方が、当時の話を私たちに伝えたいと考え、話して下さることに本当に感謝したいと思いました。なんで川の近くに移動したのだろう、山に避難していれば、、と話を聞いていて何度も感じたけど、過去を変えることは出来ないで、私ができることは、語り部さんが話して下さったことをまわりの人に伝えること、そしてその過去を絶対に繰り返さないことだと思いました。決して他人事と考えず、改めて避難場所を確認したり、防災グッズを備えたりしたいと思いました。

・あの日に起こったことを当事者の方から聞くことで様々なことを感じる事が出来た。今回の研修で感じたことは忘れては行けないと感じた。また、今自分がすべきことを考えながら行動し続けることが大切だと思った。

・人に頼るのではなく自分で考えて行動することが大切だと思った。大川小学校であったことはたくさんの人に伝えていかなければいけないと思った。

・震災が起きた当時、年中で全然覚えていなくて、正直関係ないって思っていた。今回大川小学校を訪れて東日本大震災がどれだけの被害でどれだけの人が亡くなったのかを目で見ることができた。悲しい気持ちになったが直接大川小学校を訪れた人として、家族とか友達に伝承したいと感じた。

・今まで陸からの津波についてしか考えたことがなく、川からも津波が来ることも知らなかった。しかし、今回の研修で川からの津波は勢いが海からの津波よりも強いと知ってとても恐ろしいものだと分かった。また、災害が来た時のために実践的な避難訓練をしっかりとすることが大切であると感じた。ただ校庭に逃げるだけでなくその後どのように避難するかをしっかりと考えなければならないと思った。何故大川小学校の子供たちと教師が川の方に逃げたのか、早く真実が分かって欲しいと強く思った。

・震災について正直深く考えたことは無いし、どこか他人事のように感じていた。しかし、今回当事者の方のお話を聞いて、強く悲しみを抱いたのと同時に、行政への怒りを覚えた。大川小学校のような悲劇は絶対に起こってはならなかったし、今後も怒ることはないことを強く願う。

・私は東日本大震災の記憶がないので、今まではこの震災の情報を教科書やネットでしか得てきませんでした。しかし、今回実際に被害にあった場所に行ったことで、それまでは過去の出来事としか捉えていなかった震災を、自分事として捉えることができるようになりました。自分が実際に見たもの、聞いたことをしっかりと胸に刻み、大川小学校での悲劇が二度と起こらないように、できることをしていきたいと思います。

・震災のことを知ることも大切だけど、それを周りに伝えていくことも大切なんだなと思いました。また、誰かが指示するのを待つのではなく危険を感じたら冷静に自分で考えて動くことが重要なんだなと思いました。実際に津波を見たわけではないけど津波の威力がとてもおおいことが壊された小学校を見てわかった。逃げる時間も手段もあったのに避難が出来なかったことはとても悔やまれる。普段の訓練がいかに重要かがわかった。東北などの震災の被害が大きい地域は県と住民が一体となって復興を目指していると思っていた。しかし、県などは証拠をもみ消したりしていたことが衝撃だった。

・実際に被害にあった方のお話を聞くことで、今までの震災の内容・被害のイメージよりも深く知ることができて良かったです。

・遺族の方からの言葉を聞くと本当にリアルで、とても胸が痛みました。命や防災についてすごく考えさせられました。

・謎が今でも残るのは当人だったら怒りを超えた感情になりそうだなと思った。ちょっとクラっときた。大川小学校で話をしてくださった人の話は、その場でしか聞けないことが多かったので聞くことができてよかった。また、その場で何があったのかどのくらいの津波なのかを詳しく知ることができてよかった。

・想像しただけで悲しくて辛くてやりきれなくて暑さもあり倒れるかと思った。

・語り部の方のお話や話し方から、東日本大震災や行政に対する強い怒りを感じた。また、一人ひとりが地震や津波をどれだけ自分事として考えられるかが大切だということも強く認識した。津波は建物や人々の生活だけではなく、心まで壊したということを今回身に染みて感じられた。街の復興がいくら進もうとも、被災し傷ついた方々の心の傷が癒えるまでは復興を遂げたとは言いきれないのだと痛感した。

・学校機関での震災の被害については、「釜石の奇跡」しかよく知らなかったもので、大川小学校での悲惨な出来事は初めて知るものが多かった。穴の空いた天井や、流された体育館のあと、太い鉄筋が 100t もの水で一瞬にして折れたことがわかる渡り廊下など、実際に行ってみることで被害の実態や当時の状況をより鮮明に感じ取ることができた。実際に大川市の地形を確認したり、当時の津波の威力をわかった上で「こうすればよかったのに」と思うことは沢山あるが、もし自分がその場にいたら最善の行動ができるのかと言うと、難しいなと感じた。だからこそ、只野さんも繰り返し強調していたが、避難訓練は毎回真面目に受けるべきだということも身にしみて感じた。私たちの学年は東日本大震災についてまだ覚えている人も多いが、どんどん年下になっていくにつれ、東日本大震災を知らない年代の子たちも増えていくと思う。自分の覚えている限りの当時の状況や、今回の只野さんの話など、次の世代へと伝承していくことが大切であると改めて感じた。

・実際に訪れて見て、メディアの情報以外の隠れた悲しい事実や現状の被害を知り、この震災の事実を多くの人に伝えたいと思いました。語り部さんが、遺族であり避難できた息子さんの親御さんであったことで、話を聞きながら「もし自分だったら」と考えたら憤りと悲しみで涙が止まりませんでした。

【東北大学オープンキャンパスに参加して感じたことを記入してください】

- ・実際に東北大生の方々が色々な説明をして下さり、以前よりも興味を持つことが出来ました。
- ・勉強頑張ろうと思った。
- ・元々歯学には興味があったが、今回参加して様々な体験をし、専門器具を見れたことでさらに興味が深まった。
- ・キャンパスの雰囲気や大学生の皆さんの様子、学んでいる内容など細かい部分まで知ることができた。
- ・志望する学部でどのような研究を行っているか、また、大学生の先輩方が研究内容を教えてくださったので、とても面白く、関心を持つことができました。3年時の入試に向けて学習をより頑張らなければならないと実感しました。
- ・物理と化学が難しかったけど、もし本当に興味をもって勉強したら人生においていい経験ができると思いました。
- ・旧帝レベルであり、他の学校とは違った雰囲気がありました。数学科をメインに回り、数学クイズなどに参加しました。トポロジーについて理解を深められました。
- ・放射線科についての興味がとても高まりました。また、勉強の環境や、高度な研究ができるということにも非常に惹きつけられました。
- ・大学生、院生の人が分かりやすく丁寧に説明してくれてとても充実出来た。興味のある分野のところでいっぱいお話を聞けたし、相談にも乗ってくれてとにかく優しすぎた。東北大なんてレベル高すぎて思ってたけど頑張ってみる甲斐があるかもと思った
- ・いろいろな学科を見て回れてよかった。しかし、数学科は1時からの企画が多かったので、それにも参加したかった。
- ・自分の学部がどういうことを学ぶのかやどんな知識が必要なのかを想像することができて、どのような勉強をするべきなのかを考え直すことができた。
- ・大学では自分の好きなことを整った環境下で自由に学べるのがとてもいいなと思った。
- ・学生の方が自分から動いている姿が格好良かったです
- ・遠い大学なので自分だけで行くことは難しいのでこのような機会があって良かった
- ・色々な学部を見ることができて将来の選択肢の幅を広げることができた
- ・大学の酵母の講義は今やっている事の応用だと知り、いらないところは一切ないんだと感じた。何回も復習し、忘れないようにしたい。
- ・同じレベルを目指す人達がこんなにいるんだと生身で実感させられた気がします。この夏、受験に向けて頑張ろうという勉強のモチベーションをあげることが出来て良かったです。
- ・校舎が綺麗で研究内容がすごいもので驚いた 大学生がみんな優しそうだった 薬学部の講義を受けてとても研究が楽しそうだった 電車内などがすごい混んでて驚いた 薬学部が駅から遠くてたくさん歩いて疲れたので大学はキャンパスや学部間の移動が大変と感じた。
- ・高校生や既卒生だけでなく、中学生もいたことに驚きました。また、大学の敷地の広さに驚きました。これが大学というものなんだなということが身をもって知ることができて良かったです。
- ・東北大の充実した設備で行われている実験の説明を聞くことが出来て楽しかった。また、たくさん的高校生がいてとても刺激になった。
- ・模擬講義を予約して入ったので、開始時間に余裕を持って入れたので良かった。
- ・研究室の内容などが面白かった。生徒からの話や模擬授業を受けて大学がどんなところなのか少し分かった気がする。
- ・学生さんが説明してくれる展示会のところが工夫されていてすごかったです。深く実験していくには疑問を持ちことが大切だと思いました。

- ・東北大学星稜キャンパスの色々な設備を見ることが出来たので良かった
- ・もともと興味のなかった学部を見てみたがとても興味が湧いてその学部も視野に入りたいと思った。
- ・実際の大学の雰囲気や学べることがわかって面白かった
- ・興味があった心理学の説明を聞き、とても楽しくてさらに興味がわきました。実際に行かないと分からないようなことを見たり聞いたりできて、貴重な経験になりました。
- ・実際に行くことでその大学の雰囲気などが感じる事が出来てよかった。また、今までは大学の学びなどをあまり想像できなかったが模擬授業を通してもっと自分のしたいことなどを深く追求しようと思えるきっかけにもなりとても楽しかった。
- ・どの学部が具体的にどういうことを行なっているのかは知らなかったので知れてよかった。
- ・私は教育学部の模擬授業を受けたのですが、高校の授業と違うところがわかり面白かったです。また、色々な研究の展示を見てその研究内容に興味を持ちました。キャンパスの雰囲気や立地も分かって良かったです。とても整った環境で、ハイレベルなお話をされていて、ただただすごいなと感じた。またとてもいい刺激になった。
- ・今回のオープンキャンパスで、私は大学の先輩方がどのような研究をしているのかを見学してきました。あらかじめホームページを見て勉強してきたつもりでしたが、実際にお話を伺うと、ホームページには書かれていなかったことまで説明してくださり、自分の将来が具体的にになりました。今回の経験を生かし、夏休みの間に他の大学のオープンキャンパスにも参加してみたいと思います。
- ・ハイレベル
- ・経済学部の大学院生のお話の中で『「自分の好きなことは何か？」を考えて欲しい』という言葉が印象に残っていて、高校生の内に自分のしたいことや興味があることを見つけることの重要性を改めて感じた。周りの人がみんな頭が良さそうに感じた。人が多くてあまり見れなかった。大学の模擬講義を受けた。1時間半はとても長く感じた。しかし、興味がある分野のことを知れたのでよかった。
- ・模擬授業では実際の授業と同じ90分だったので、雰囲気を感じる事ができました。
- ・敷地がすごく広く、キャンパスがすごく充実している印象を受けました。内容も難しく、教授がその専門の資格を取っていたりしているなど内容が濃かったです。
- ・旧帝大の圧倒的な規模でそれぞれが自由な感じがした
- ・事前に講義や体験することについては調べてあったが、バスなどルートについては詳しく調べていなかったので調べておけばよかったと思った。講義や体験は、すごく将来の職業に関することなので勉強になった。みんなキラキラしてて本当に楽しそうな学校だなと思った
- ・キャンパスがとても広く自然豊かでのびのびと勉強できる環境の整った学校だと感じた。
- ・初めてのオープンキャンパスの参加で、全国から大勢の人が来ていることが1番の学びだった。受験当日も会場に色々な制服の人たちが来るとすると、受験は全国規模での戦いなんだなと改めて感じた。
- ・知らなかった大学のシステムや研究室を覗くことが出来て、考えていなかった留学のことや探求について深めることが出来ました。また、高校での勉強のモチベーションがとても上がりました。東北大は目標が高いですが、今やるべきことに取り組んで、差を縮めていけるように努力していこうと思いました。

【今回の東北へのツアーを通して感じたことやご意見等を記入してください】

- ・友達と楽しみながら大学を見る事が出来て、とてもいい経験になりました。
- ・たくさんのが1泊2日で学ぶことができて、とても有意義な時間でした。このツアーを通して学んだことや感じたことを、忘れずに行動に活かせるようにしたいです。
- ・仙台の良さも知ることができ、東北大学への憧れが強まった。
- ・普段の生活では体験できないことやものを実際に見て感じる事が出来たのでとても良い経験になったと思います。進路の面でも、社会の現状を知り考えていくという面でも新たな角度からの多様な方法を学ぶことが出来ました。
- ・オープンキャンパスは2日間見れると良いなと思いました。
- ・東北大学の人はみんないい人でひとつの目標としてたてたいとも思ったし、仙台観光の中で行動の範囲とか準備、計画の重要性を感じられて日々の生活としても学ぶことがあって参加してよかったと思う。
- ・仙台の街並みはかなり都市でした。太田や筑波とは違うものを感じました。海のある街であり、震災についての話についても深く心に刻まれました。また、普段はできない同級生との夜の街歩きも新鮮さがありました(牛タン美味しかったです)東北大のOCに参加したことにより、より勉強へのモチベーションが上がりました。
- ・とてもよかったです。東北大学への興味や、進路への意欲が増しました。
- ・東北の雰囲気、大学の雰囲気が知れて良かった。色んな子と仲良くなれたのでよかった。こんなに暑くて日差しの強い日じゃなければもっと良かったのになと思った。
- ・午後の企画が結構あったので、それにも参加できるようにしてほしい。また、東日本大震災だけでなく、他の震災についても学びに行きたい。
- ・自分たちで行くだけだったら聞けなかった大川小学校についての話や自分たちだけで学部に行くという経験ができてよかった。
- ・今回のツアーでは生徒の自主性を重んじ、自由な時間を多くとって頂いたことで良い思い出ができました。また、東北大学のオープンキャンパスだけでなく、被災地でしか学ぶことができないようなことを学ぶことができ、とてもよかったです。今回、このような充実したツアーを企画して頂き、ありがとうございました。
- ・個人では体験できないことをたくさんでき、楽しめました。
- ・東北大学も良かったし、仙台の街もすごく良かった。勉強の意欲が高まった
- ・大学のオープンキャンパスに行くだけでも夏休みの勉強に対する意識が少し変えることができた
- ・初めての仙台で知らない景色が広がって面白かった。また、子どもだけということも初めてだったので良い人生経験をつめたと感じた。
- ・ハードスケジュールだったけれどもとても充実した楽しい2日間でした！
- ・とても良い経験になった 私服OKや自由行動の時間が多かったのも良かった 個人だとあまり行けないところで、お土産もたくさん買えて良かった 大学への移動や待ち合わせが少し大変だった 初めてのオープンキャンパスで大学の雰囲気を味わえたのが良かった 進学へのモチベーションが上がった 来年度もやると進路選択に良いと思った
- ・大川小学校と東北大のオープンキャンパスのどちらも貴重な体験でとても良かった。ミニ修学旅行のようで楽しかった。一方、2日間かなり暑かったので、次回からは熱中症などの対策をもう少しした方がいいと思った。
- ・ホテルが一人部屋で、快適だったので良かった。見たいキャンパスが2つあったけど、時間がなくて行けなかったのもう少し時間が欲しかったなと思う。
- ・仙台駅の周辺で楽しみながら大学見学もできたのでよかったです。
- ・とても貴重な体験ができたと思う。自分で考えて行動でき、とても充実したものになったので本当に行って良かった。

・私たちを信頼して、自由な行動をさせてくださったのがとてもありがたかったです。そのおかげで、自分で判断して自分たちだけで行動する大変さを体験することができまし、自分自身がとても成長できたと思います。何より嬉しかったのは、気の合う友達に出会えたことです。私は最初1人でこのキャンパスツアーに参加して、当日まで行動班も決まっていませんでした。でも当日に話したこともなかった私を仲間に入れてくれた子達がいて、すぐに仲良くなれました。この素敵な機会を作ってくくださったことに感謝の想いでいっぱいです。何も悪いとこなしのツアーでしたが、1つ提案があります。私服での行動ということでしたが、例えばカバンに何色のバンダナをつけるなどして、太女生だとわかる目印があった方が良いのかなと思いました。先生方も見つけやすいと思いますし、私達自身も太女生を見つけられると安心したし、困っている時に助け合えるきっかけにもなるかなと思います。

・大川小学校を訪問して、語り部さんの説明を聞くことと新聞などの記事を読むのとでは全然感じ方が違うから訪問して話を聞くことができてよかったです。オープンキャンパスは混んでいたけど模擬講義や展示を見られるからよかった。

・語り部さんのお話しでは震災の深刻さを実際に見て知ることができ、東北大学オープンキャンパスでは大学の設備などを見学することができたので良かったです。

・比較的自由度が高かったので自分の好きなように予定を組み立てられたのが良かった。

・大川小学校や東北大学に実際に足を運んだり、ホテルに1人で泊まるというなかなか無い経験することができたり、本当に行ってよかったなと思いました。ツアーのために関わってくくださった方々全員に感謝したいです！

・語り部さんから直接話を聞けたり、大学への見学によって自分の将来をもっと考えてみようと思えた。

・長いバスは大変だったけど大川小学校を見学した時に来てよかったなと思った。テレビで少しだけ見たことがあったけど深くは知らなかったので知れてよかったと思った。東北大学は学生がすごい自信に溢れていてキラキラして見えた。

・被災地に来る機会はありませんので、海の津波と違って川の津波は映像が無いと聞いて大川小学校の見学と貴重な話を聞けてとても良かったと思いました。また、遠くの大学の見学には個人で行きづらいので学校で行けて良かったと思いました。

・とても良い時間になった

・家族から離れて一人の力で知らない土地で泊まりがけで過ごすという経験はなかなかできないことなので、今回はとても良い機会になりました。少し失敗したり不安になってしまうことはありましたが、それらから学ぶことも多く、自立した大人になるための大きな一歩を踏み出せたと思います。またこのような機会があったら、ぜひ参加したいです。

・信頼の下で自由なので、とっても楽しかったし学べた。

・大川小学校や東北大学のオープンキャンパスはもちろん、普段の生活でできないようなことが沢山できて、学びの多い2日だったので是非後輩達にも行って欲しいなと思いました。

・仙台が思ったよりも都会で驚いた。駅の中でとても迷ってしまった。初めての仙台だったので見たことがない町に触れられて楽しかった。もっと東北にいたかった。あと、帰りのサービスエリアにコンビニがあればいいなと思いました。ありがとうございました。

・1泊2日で行動範囲の自由度も高かったので、友達との交流を深められました。また、大学や被災地見学はもちろん、ホテルに1人で泊まることは今後役に立ついい経験になったと思います。

・今回は本当にご迷惑おかけしてすみませんでした。2日目は体調も良くなり、楽しい時間を過ごせることが出来ました。この2日間楽しかったです！

・今後とも熱中症にだけは気をつけていただきたいです

- ・初めて行く場所で、経験したことのないことを経験することができてよかった。しかし、自分でしっかり調べておくべきところがあるので、調べておくことが大切だと思いました。
- ・とても良かったです！！
- ・大川小学校訪問が様々な意味で最も心に残った。ぜひ来年の2年生にも行ってもらい、語り部の方の話を直接聞いて欲しいと思った。
- ・人数が1クラス分くらいしかいないので、自由行動が多く、思う存分仙台の町や食べ物、お土産を楽しめた。夜まで友達と遊ぶ事は日常ではほとんどなくて新鮮だったし、これを機に新しい友達もできたり、仲が深まった友達もいて、本当に充実した2日間を送ることができた。思っていた何十倍も楽しく、高校生活の中での思い出の1つにすることができて、今回思い切って参加してみて良かったと思う。
- ・その土地の文化を、食や大学等で体感することが出来て、オープンキャンパスだけじゃない楽しみがあってとても充実していました。

【謝辞】今回のツアーを開催するにあたり、ご理解とご支援をいただきました保護者の皆さまに心から感謝いたします。ありがとうございました。また本校校長先生、教頭先生を始め2学年と探究部、進路指導部の先生方、そして旅行代理店の担当者様にも感謝いたします。ありがとうございました。

酷暑の中でのツアーとなり参加生徒には負担も大きかったと思います。体調管理や熱中症対策ではまだまだ課題があると感じました。誠に申し訳ありませんでした。参加生徒からもいろいろご意見をいただいたので、来年度以降もしこういった企画をおこなうとしたら検討事項にしたいと思います。

参加して下さった生徒たちは本当によく頑張って学んでくれました。感想からも伝わりますとおり、充実した素晴らしい研修となりました。この経験が今後の高校生活に活かされると信じています。今後とも生徒たちの健全育成と学力向上に尽力いたします。本当にありがとうございました。

担当職員一同